

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	卒業：選択 幼一免：選択
担当教員			
大久保 敬次			

講義概要	幼児算数の学習全体を通して、講義中心の中に便宜演習を取り入れながら、教材研究の進め方、遊びの中での算数的活動の進め方等、具体的な事例を参考にしながら授業を展開していく。特に、小学校現場の指導の様子や模擬授業を活用しながら、自己表現力、資料活用力、問題解決力を学ぶ。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業のねらいと課題設定、評価について</p> <p>2 幼児期の発達（１） 幼児期の知的発達の特徴（１）</p> <p>3 幼児期の発達（２） 幼児期の知的発達の特徴（２）</p> <p>4 教育要領・指導要領の研究（１） 幼稚園教育要領・保育所保育指針・小学校学習指導要領の研究（１）</p> <p>5 教育要領・指導要領の研究（２） 幼稚園教育要領・保育所保育指針・小学校学習指導要領の研究（２）</p> <p>6 幼稚園と小学校（１） 算数的教材の系統と指導内容の研究（１）</p> <p>7 幼稚園と小学校（２） 算数的教材の系統と指導内容の研究（２）</p> <p>8 幼稚園と小学校（３） 算数的教材の系統と指導内容の研究（３）</p> <p>9 指導法の研究（１） 授業参観による授業の研究</p> <p>10 指導法の研究（２） 事前学習と授業参観との比較による授業の研究</p> <p>11 指導法の研究（３） 模擬授業へ向けて教材研究、指導案作成（１）</p> <p>12 指導法の研究（４） 模擬授業へ向けて教材研究、指導案作成（２）</p> <p>13 指導法の研究（５） 模擬授業と保育所・幼稚園での生かし方発表準備</p> <p>14 研究発表（１） 保育所・幼稚園での生かし方発表</p> <p>15 研究発表（２） 研究のまとめと研究発表</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①幼児期の知的発達の特徴を理解できる。</p> <p>②幼稚園教育要領や保育所保育指針と小学校学習指導要領との関連について研究する能力を習得する。</p> <p>③幼児期の知的発達と算数的教材の系統と指導内容を理解できる。</p> <p>④算数的活動と遊びの関連を理解できる。</p> <p>⑤模擬授業と課題研究、小研究会の運営を進めることができる。</p> <p>・授業態度、実習・実技の態度、課題レポートの内容や提出状況等で総合的に評価する。</p> <p>・模擬授業等授業でのテーマに応じた内容でレポートで評価する</p>
教科書・参考書	<p>テキスト：必要に応じて講義用のテキストを作成する。</p> <p>参考書：『幼児期から児童期への教育』 国立教育政策研究所・教育課程研究センター ひかりのくに 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 『新保育所保育指針の読み方（解説・資料・実践）』 全社協 『小学校学習指導要領解説 算数編』 文部科学省</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	<p>・講義内容の小テストを実施し定着を図る。</p> <p>【準備学習（自主学習）】 課題を設定し、準備学習等自主的な学習を促していく。</p>